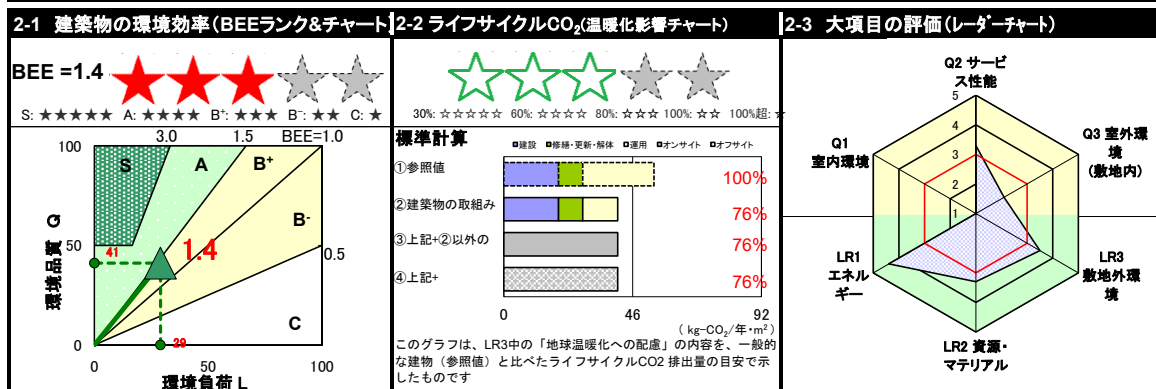
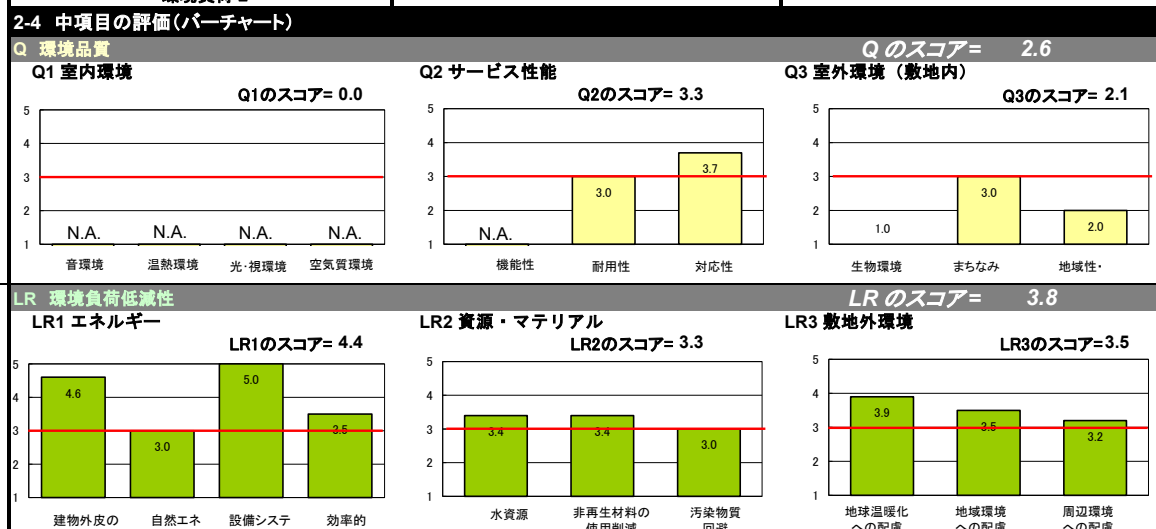


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)伊勢湾海運西名港3号倉庫	階数	地上5階
建設地	愛知県海部郡飛島村東浜1丁目6番1	構造	S造
用途地域	市街化区域、法22条指定区域	平均居住人員	43 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2026/5/1 予定	評価の実施日	2026/4/7
敷地面積	44,764 m ²	作成者	有限会社ストウプランニング 須藤隆司 01805-28
建築面積	9,620 m ²	確認日	2026/4/7
延床面積	29,165 m ²	確認者	五洋建設株式会社 一般建築士事務所 宮本福明 08379-31



3 重点項目	
①地球温暖化への配慮	③敷地内の緑化
3.3	2.0
②資源の有効活用	④地域材の活用
3.0	1.0
<p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p>0.0 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p>0.0 %</p>	
<p>〈外装材に使用した地域性のある材料〉</p> <p>なし</p> <p>〈建物の構造材・内装材・外構に使用した地域性のある素材〉</p> <p>なし</p>	

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

- ①地球温暖化への配慮
- LR-3 1 地球温暖化への配慮
- ②資源の有効活用
- Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
- LR-2 2 非再生性資源の使用量削減
- ③敷地内の緑化
- Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$



CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き
【仮称】伊勢湾海運西名港3号倉庫

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄						建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
配慮項目		独自基準	重点項目	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数
Q 建築物の環境品質															2.6
Q1 室内環境															
1 音環境															
1.1 室内騒音レベル															
1.2 遮音															
1 開口部遮音性能															
2 界壁遮音性能															
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)															
4 界床遮音性能(重量衝撃源)															
1.3 吸音															
2 温熱環境															
2.1 室温制御															
1 室温															
2 外皮性能															
3 ゾーン別制御性															
2.2 湿度制御															
2.3 空調方式															
3 光・視環境															
3.1 昼光利用															
1 昼光率															
2 方位別開口															
3 昼光利用設備															
3.2 グレア対策															
1 昼光制御															
3.3 照度															
3.4 照明制御															
4 空気質環境															
4.1 発生源対策															
1 化学汚染物質															
4.2 換気															
1 換気量															
2 自然換気性能															
3 取り入れ外気への配慮															
4.3 運用管理															
1 CO ₂ の監視															
2 喫煙の制御															
Q2 サービス性能															
1 機能性															
1.1 機能性・使いやすさ															
1 広さ・収納性															
2 高度情報通信設備対応															
3 バリアフリー計画			独自												
1.2 心理性・快適性															
1 広さ感・景観 (天井高)															
2 リフレッシュスペース															
3 内装計画															
1.3 維持管理															
1 維持管理に配慮した設計															
2 維持管理用機能の確保															
2 耐用性・信頼性															
2.1 耐震・免震・制震・制振															
1 耐震性(建物のこわれにくさ)															
2 免震・制震・制振性能															
2.2 部品・部材の耐用年数															
1 躯体材料の耐用年数															
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			②												
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔															
4 空調換気ダクトの更新必要間隔															
5 空調・給排水配管の更新必要間隔															
6 主要設備機器の更新必要間隔															
2.4 信頼性															
1 空調・換気設備															
2 給排水・衛生設備															
3 電気設備			②												
4 機械・配管支持方法															
5 通信・情報設備															

3 対応性・更新性					0.4	3.7	0.48	-	-	-	3.7
3.1 空間のゆとり					0.3	5.0	0.31	-	-	-	
1	階高のゆとり		②	最小階高6.7m 壁長さ比率:0.047	-	5.0	0.60	-	-	-	
2	空間の形状・自由さ				3.0	5.0	0.40	-	-	-	
3.2 荷重のゆとり					3.0	3.0	0.31	-	-	-	
3.3 設備の更新性					0.3	3.2	0.38	-	-	-	
1	空調配管の更新性		②	ケーブルラックで配線	-	3.0	0.17	-	-	-	
2	給排水管の更新性				3.0	3.0	0.17	-	-	-	
3	電気配線の更新性				3.0	5.0	0.11	-	-	-	
4	通信配線の更新性				3.0	3.0	0.11	-	-	-	
5	設備機器の更新性				3.0	3.0	0.22	-	-	-	
6	バックアップスペースの確保				3.0	3.0	0.22	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)					-	-	0.57	-	-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出			独自③		-	1.0	0.30	-	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			独自④		-	3.0	0.40	-	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮					0.3	2.0	0.30	-	-	-	2.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		独自④		-	2.0	0.50	-	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上				-	2.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	-	-	-	3.8
LR1 エネルギー					-	-	0.40	-	-	-	4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制				BPI=0.84	3.0	4.6	0.20	-	-	-	4.6
2 自然エネルギー利用					3.0	3.0	0.10	-	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化				BEI=0.49	3.0	5.0	0.50	-	-	-	5.0
4 効率的運用					0.2	3.5	0.20	-	-	-	3.5
集合住宅以外の評価					1.0	3.5	1.00	-	-	-	
4.1	モニタリング			年間のエネルギー量からZEBの検討をしている	3.0	3.0	0.50	-	-	-	
4.2	運用管理体制				3.0	4.0	0.50	-	-	-	
集合住宅の評価					-	-	-	-	-	-	
4.1	モニタリング				-	-	-	-	-	-	
4.2	運用管理体制				-	-	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル					-	-	0.30	-	-	-	3.3
1 水資源保護					0.1	3.4	0.15	-	-	-	3.4
1.1	節水			節水機器を採用	3.0	4.0	0.40	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					0.6	3.0	0.60	-	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無				3.0	3.0	0.67	-	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無				3.0	3.0	0.33	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減					0.6	3.4	0.63	-	-	-	3.4
2.1	材料使用量の削減		② 独自	再生クラッシャーラン(1階コンクリート床の下)	-	2.0	0.07	-	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用				-	3.0	0.25	-	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用				-	3.0	0.21	-	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				3.0	3.0	0.21	-	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材				3.0	-	-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み				3.0	5.0	0.25	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避					0.2	3.0	0.22	-	-	-	3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用				3.0	3.0	0.32	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避					0.6	3.0	0.68	-	-	-	
1	消火剤				-	-	-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)				-	3.0	0.50	-	-	-	
3	冷媒				3.0	3.0	0.50	-	-	-	
LR3 敷地外環境					-	-	0.30	-	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮			①	ライフサイクルCO2排出率76%	-	3.9	0.33	-	-	-	3.9
2 地域環境への配慮					0.3	3.5	0.33	-	-	-	3.5
2.1	大気汚染防止			燃焼機器を使用していない	-	5.0	0.25	-	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善				-	3.0	0.50	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制					0.2	3.0	0.25	-	-	-	
1	雨水排水負荷低減	独自			-	3.0	0.25	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制				-	3.0	0.25	-	-	-	
3	交通負荷抑制	独自		荷捌き用駐車場の確保、出入り口の確保	-	4.0	0.25	-	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制				-	2.0	0.25	-	-	-	
3 周辺環境への配慮					0.3	3.2	0.33	-	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					0.4	3.0	0.40	-	-	-	
1	騒音	独自			-	3.0	0.33	-	-	-	
2	振動	独自			-	3.0	0.33	-	-	-	
3	悪臭				-	3.0	0.33	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制					0.4	3.0	0.40	-	-	-	
1	風害の抑制				-	3.0	0.70	-	-	-	
2	砂塵の抑制				-	3.0	-	-	-	-	
3	日照阻害の抑制				-	3.0	0.30	-	-	-	
3.3 光害の抑制					0.2	4.4	0.20	-	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策			光害対策ガイドラインを満たしている	-	5.0	0.70	-	-	-	
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策				-	3.0	0.30	-	-	-	

重点項目スコアシート

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

【仮称】伊勢湾海運西名港3号倉庫

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点		全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策					3.9
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.9	0.10	3.3	
② 資源の有効活用					
Q2-2	耐震性・信頼性	3.0	0.22		
Q2-3	対応性・更新性	3.7	0.21		
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.4	0.19		
③ 敷地内の緑化					1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.17	外構緑化:0%/建物緑化:0%	
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0	
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし	
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし	

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称)伊勢湾海運西名港3号倉庫

計画上の配慮事項	
総合	自然光、緑化、自然素材を活かし、心身の健康と創造性を育むオフィス環境を整備します。 従業員のストレスを軽減し、働く環境に配慮。 LEDなどの高効率設備と節水型衛生器具の採用によりエネルギー消費を削減し環境に配慮。
Q1 室内環境	対象外
Q2 サービス性能	耐震クラスAとする。 階高にも余裕を持たせている。
Q3 室外環境(敷地内)	特になし。
LR1 エネルギー	BPI=0.84 BEI=0.49 年間のエネルギー量からZEBの検討をしている。
LR2 資源・マテリアル	節水機器の採用。
LR3 敷地外環境	ライフサイクルCO2排出率76% 荷捌き用駐車場の確保、出入り口の確保。 光害対策ガイドラインを満たしている
その他	特になし。